井

上

夫さんは、

日

(以下概要をお知らせします)

日 名 て 域  $\mathcal{O}$ 月 < 道 セ 本 で 市 催 15 総 b 第 権平 演 尊 ド 民 さ В 決 し 9 きる」と し が れ 起 を 口 集会」 をも 守 れい た ま 参 札 幌 をデ 金沢 し 加。 2 ての ! つ の 市 サポ 学者 大学 が 2 題 て Ŧ 0 内 北 ち 集 슾 で 海 の L 地 人 住 デ 活

ン を

の

認

知症

高

者

支えるスウェ

1

を

うも

の

き

は 倍

ま

さ 権

われ

安

 $\mathcal{O}$ 

政 状

て

る

لح 害 が

IJ

在

は

奪

む

ろ 人

侵 権

日 基 を が限 た あ て 本に 宅を る 本 保 』『最高水 的 焦 度 た 点に 障されること に の か 生 ع 生活 存権 は な いで 訴えま なる せ つ て は を 準 が の 、水 分な 必 合 1) の - 求 要 わ る 健 水 最 め 生 世 康 準 低

# 明。 がを 重 定 権 味 じや ら

が残る札幌市街をデモパレード(前列中央が井上教 北海道民医連新聞・「笑顔で暮らしたい」から…

を

権 自 ゃ 護 し ま を た、 己 家 利 た 生 尊 決 族

憲 説の生 人

示

し

本

玉

わが心 本 的 に 国 て 保 憲 が い 障さ 法 け の 숲 尊 \_っ が 保 る 厳 لح れ 25 障 ŧ لح て 条 で は い つ は うこ い を 基 て る 中 H 本

なく、 の た は 展 生 界 障 が 世 上 の さ 法 活 で が 界 前 す せ を を は 大 の 世 に ること きく 守 保 界 7 で 先端 きた ょ 障 最 で な ごで り良 < 生活 低 発 は で 人人 た ょ 限 時 で す 度

されたものであ ここに 最 的 ŧ 類 おけ 的 未 だと 来 視 点、 志 る 思 向 歴 う 玉 が

する」とある。 由及び権利は、 す 憲 い 努力によってこれを保 とっ 保 か لح 法 らら。 持は 法 1) が 力 12 た つ T た 守 条 て IJ か 番安 民 怖 倍 の不 展 な 政 百 さ さ で -持

ない永久の権利として信託 国民に対し、侵すことのでき 練にたへ、現在及び将来の らの権利は、過去幾多の試 努力の成果であって、これ

の多年にわたる自由獲得 障する基本的人権は、 「この憲法が日本国 (は97条 のかたた 民に 自◀ 民党表

た けか で 法 いそ た で 身 は で れ か  $\vdash$ な は ラ が 1) لح は 日 人 い こ 本 類 い グ つ لح 玉 の う を 民 た IJ 憲だた 言

奪り人会 倍のは 政

分低世 なは

日 本 の 憲 法 は 70

「国民の命と生活を守れ

長期化が予想される「新型コロナウ ィルス」。感染への不安とともに、医療 や学校、保育、仕事、地域経済、 生活など、様々な分野に影響と問題が 広がっています。

日本共産党夕張市委員会では、 コロナウィルスに関する市内の様々な 影響や要求をつかんで、党中央委員会 や国会・道議会の党議員団と連携し、 対応を進めてまいります。

ぜひ、アンケートにご協力ください。

# 欧米は大規模に

	外出制限などの措置	主な補償措置
米国	<ul><li>・各州政府が強制力 を伴う自宅待機命 令などを実施</li></ul>	おとな 1 人当たり最大約13万円、子どもに約6万円の給付
英国	・買い出しや散歩以 外の外出は禁止 ・違反者に罰金	自営業者・フリーランスに平均 所得の8割を月額約33万円を上 限に給付
ドイツ	<ul><li>・「接触禁止」に重点 を置く</li><li>・3人以上の集会を 禁止など</li></ul>	・中小企業に約6兆円の給付 ・従業員10人以下の事業者に最 大約180万円を支給
フランス	・原則外出禁止 ・違反者に罰金	・休業する労働者の賃金100% 補償 ・自営業者などに約18万円給付

しんぶん赤旗4/12より

る、 れ 性 ば 思 劣 なり 想 等 心を克 処 ち ま 遇  $\mathcal{O}$ せ 服 意 中 ٨ 識 に

e-mail: jcp.yubari@gmail.com

かすこ

★日本共産党 夕張市委員会へのご連絡·ご相談はお気軽にどうぞ~ Tel/Fax: 0123-52-3097

社

会保

障は

国が第一

これ

がまさ

に

平

即 は 適

暮

らしていくこ 暴力がな

的

責

任

숲 保

公保障が

障す

、べきも

# (2)

ての て を た  $\mathcal{O}$ せ くく ること た たた 不断 か い か に 1) ま の さい 正義 努力をし お 国民とし 墨付 憲法が す。 が、 ることを確認する」これ うちに生存する権利を有す 怖と欠乏から免れ、平和の

与えて

 $\mathcal{O}$ 障する 自助・ 権 利 払助」は の で、 共助·公助」 が 権は国民 玉 そ れを保 の義務 違 い ٤ 숲 な を 貧 テ い で 脱 困  $\Box$ 

却

Ĺ

て、

戦

い争状社が態

宜

何

で

す。

貧困

欠乏はま 恐怖や戦

さに .?争や

で

す

くこと

が平和 生活をし

な

生活

般

持 由

つ に 恐

た

て 厳 ら

L١

村 捕

なって、

尊 か

怖

ع

欠乏

き

「われらは全 障され 保障され 権という をもって 恩恵から の。 な の て 成 つ 社 玉 ŧ 9 لح い あ ゃ 和 条と Ŋ 民 て 憲法 のです。 で の 社 他 な生活で す。 の た ち 会 方 多くの支持 たかっても、 9条だけ 25 を 福 で 生 活、 条は だから 保 祉 はな権 す。 障するこ 社 会 生 存、 体 憲 孤 利 保 は 法 で障 立 の

る。

た

か

高

位

の

権

利に

利

的

生存

権

が

ます。

得られ

ませ

憲法前文には

平

的生存 権 くずさんの 夕張歴史散歩(133)

# 明 治 維 新 47

朝

鮮

植

民地支配

29

全土で起こります れると、 0 7 蜂 年 起は京 · 8 月、 城 韓 国軍 (ソウル) が解散さ はじ

え、 落に負わ 民 これをかくまう者は容赦なく厳罰に処し、 /衆に告示したのです لح 徹 底 せて厳重に 的 殲 膺懲的討伐 滅 .処置 加 これに対し韓 (せんめつ)」方針 好道司令官は、「猛烈に膺懲 するという「村落連座」 1 9 国 年 駐箚(ちゅうさつ) を立てます。 9月)。 その

を

施 兵

軍

義

# 虜にしないで「適宜処分」せよ

0 7

の

責任を 方針

決の捕虜銃殺、 処分す を意味  $\mathcal{O}$ '令官長谷川は「成るべく捕虜とする以前に 起 するの べし」と各 に 対する か。この令達以降は無差別 落焼き払いが頻発します 日 部隊 本 軍 に発しています。 の「鎮 圧 戦争はすさま 「適宜 殺戮(さつりく)、 処 分分 於 じ

が

わ

か

人道 ま 玉 的 たしても皆殺し作戦です。 にも |際法にも韓国 許されませ 法にも、 ま た日本軍法上も違法であ 捕 虜を虐待し たり殺す

# 兵討 伐の目

そ の 狙 帝 に か 国の つて は、 ・ます。 りまし 威武」を刻印 東学農民が戦った全羅 義兵の討伐だけでなく「一般人民の精神上」に 対して日本軍は 民衆を心底から震え上がらせるこ 「南韓大討伐」をかけ 道で農民を中心に義兵 ま は

の 人を含め こうし 海 て 4 義兵に死傷 万人を下ら 全土 を焼き払 者 1 な 万7779人を出します とい つ われる人々 を殺し が、 韓 玉 民

> さ 友

 $\otimes$ 

血 間

この項は、 「朝鮮植民 地問題」に詳しい「槇蒼宇」法政大学教授の文によります。

## 岩渕 友 国 [会か け あ る

## 参 議 院議 員

# 渕 友

抜 本的 な 財 政 措 置 [と現 場 の 要 (水実 現 を

守るためには休 給する制 ついて、 払った企業に一 き驚きました。 会議員団でうけました。そこで出た質問 緊急経済対策と補 つずか6 76 件。 必要です。 申請 度は、 件とのこと。 フリー ナウ 件 1 日最大8 校要 ランスの 申 数100 請 Œ スの感染拡大をうけて発表さ 爻請と補: 件 休校で休業した保護者に 予算案につい 制度の改善ととも 数 保護者に 0 3 5 0 償 が 0 件に対 対 円 一体で行 . を助 日 て、 交付件 し、 4 1 0 0 円 成 に、 する へ の わ 交付件 れること 数は くら 給料 説明 制 口 [答を 度に n !を支 わず を支 を 数

り、 たが、 苦し す。 規 L 新 0 **減模事** た。 型コロ % に 先 月、 業者向 費税増税に台風被害、 売上が10分の1に減 の商工 ナウイ 税することも は事業者の れています。 福 島県 けの給付金制度をつくることにしまし では足りない」という声が出され -ルスの 団体は連名で、 0 医 声に押されて、 師 これ 影響と実 求めて 会と三つ は北 その上コロナと ったとい ま 消 海 態  $\mathcal{O}$ 量税率 道でも全国 商 ようやく中小・ 要 工. う事業者 望をう 寸 を 体 を 何重 一でも 定 か 訪 て が 的 ŧ 同 に 1

これ そのため 会全国 自 党 協 派 を超 続き力 えた声になっています。 賞は みなさんから、 を尽く んでほしいと要 セットで」「 措置と現 ます 政府 望を受けまし 場 消 0 費 要 は 税 求 「一社もつぶ は 小 減 企業家 税 たが、 を